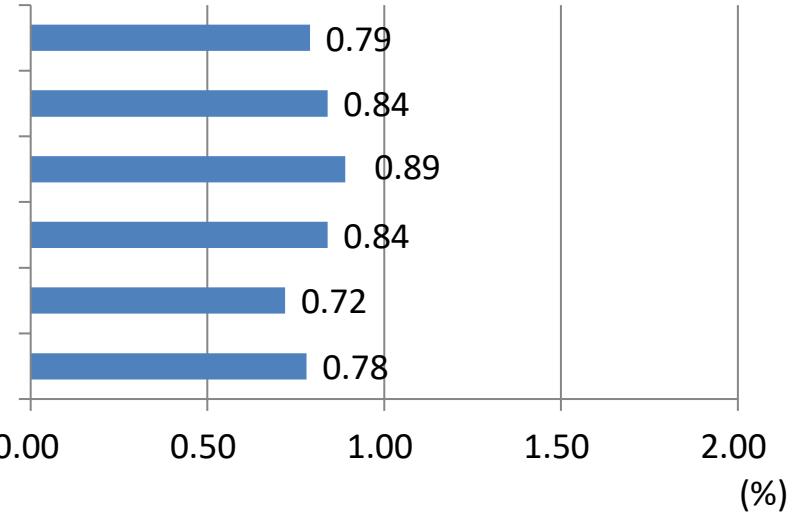


29 褥瘡発生率

解説	<p>入院後に褥瘡(床ずれ)が新規発生することで、患者のQOL(生活の質)の低下をきたし、結果的に入院期間の長期化や医療費の増大を招きます。これは、適切な診療により予防できる疾患です。国立大学附属病院における褥瘡の発生率は低く、適切な取り組みが行われていることが示唆されます。知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価する指標です。</p>
実績	<p>平成28年度 0.79 平成29年度 0.84 平成30年度 0.89 令和元年度 0.84 令和2年度 0.72 令和3年度 0.78</p>  <p>A horizontal bar chart showing the rate of pressure ulcer occurrence per year from Heisei 28 to Reiwa 3. The x-axis represents the percentage (%) from 0.00 to 2.00. The y-axis lists the years. The bars show the following values: Heisei 28: 0.79, Heisei 29: 0.84, Heisei 30: 0.89, Reiwa 1: 0.84, Reiwa 2: 0.72, Reiwa 3: 0.78.</p>
定義	1年あたりの褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡が発症した患者数の比率)です。